

松戸市立博物館 企画展 「異形土器 縄文時代の不思議なうつわ」を開催

縄文時代の土器は基本的には煮炊きをするための生活の道具ですが、縄文時代後期になると、不思議な形をしていて、何に使ったのかもよくわからない土器がいくつも出現します。それらは「異形土器」とよばれ、種類によっては東日本全域でみつかります。異形土器はなぜ作られ、広まっていったのでしょうか。本展示では、東日本各地の異形土器を通じて、縄文時代の人びとの地域を越えた関わり合いを描き出します。

- 会 期 令和6年9月14日（土）～11月4日（月・休）
- 休 館 日 月曜日、なお月曜祝日の場合は開館し翌日休館
- 開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
- 会 場 松戸市立博物館 企画展示室（松戸市千駄堀671）
- 観 覧 料

	一般	高校・大学生	中学生以下
企画展	310円	150円	無料
常設展共通観覧券	520円	250円	

※11月3日（文化の日）は企画・常設展とも無料

プレス用内覧会 令和6年9月13日(金)14時～16時

●展示構成（展示件数 170点）

第1章「異形土器の出現と変遷」

異形土器はいつごろ、どのような形で現れ、どのように形を変えていったのでしょうか。関東でしばしばみつかる異形台付土器（いけいだいつきどき）と釣手土器（つりてどき）のうつりかわりをたどります。



異形台付土器 W17.0×D16.0×H17.4cm
祇園原貝塚（千葉県市原市）
市原市教育委員会所蔵



釣手土器 W15.5×D15.5×H15.2cm
馬場小室山遺跡（埼玉県さいたま市）
さいたま市教育委員会所蔵

第2章「異形土器の拡散」

関東で異形土器が作られたのとはほぼ同時に、北海道・東北でもよく似た異形土器が作られます。土器作りのルールが広い範囲で共有されていたことがわかります。



異形台付土器 W7.5×D7.8×H11.5cm
丹後平(2)遺跡（青森県八戸市）
八戸市博物館所蔵



香炉形土器 W9.0×D9.0×H14.2cm
長倉I遺跡（岩手県軽米町）
軽米町教育委員会所蔵 岩手県指定文化財

第3章「越境する^{ちゅうこうどき}注口土器」

異形土器が作られたのと同じころ、注ぎ口のついた急須のような形の注口土器もさかんに作られました。注口土器はよく似た形のものがたくさん作られ、異形土器と同じように地域を越えて広がりました。



注口土器 W24.0×D26.7×H25.9cm
王子ノ台遺跡（神奈川県平塚市）
東海大学校地内遺跡調査団所蔵



注口土器 W12.3×D15.3×H11.6cm
川目A遺跡（岩手県盛岡市）
岩手県教育委員会所蔵

第4章「土器からみた地域間の関わり合い」

よく似ているのは特殊な土器だけではありません。普通の形のうつわにもよく似た文様がつけられます。縄文時代後期の人びとが地域を越えて深く関わり合っていたことがうかがえます。



浅鉢形土器 W21.2×D21.2×H8.8cm
 内野第1遺跡（千葉県千葉市）
 千葉市埋蔵文化財調査センター所蔵



浅鉢形土器 W19.8×D19.8×H8.5cm
 山元(1)遺跡（青森県青森市）
 青森県埋蔵文化財調査センター所蔵

展示予定資料の一部について、会期終了まで3Dモデルを公開しています。

https://sketchfab.com/Matsudo_Museum

●関連企画

➤ 企画展記念シンポジウム

「異形土器と注口土器からみた縄文後期社会の変容」(科学研究費学術変革領域研究(A)「日本列島域における先史人類史の統合生物考古学的研究 — 令和の考古学改新 —」共催) <要申込>

日時 令和6年10月5日(土) 10時～16時

会場 森のホール21 レセプションホール

パネリスト

- 中村耕作氏（国立歴史民俗博物館）
- 吉岡卓真氏（さいたま市教育委員会）
- 福永将大氏（九州大学総合研究博物館）
- 渡辺幸奈氏（京都大学大学院）
- 西村広経（松戸市立博物館）

総括コメント

秋田かな子氏（東海大学）

定員 190人（申込先着順）

➤ **学芸員講演会「縄文後期の異形土器」(博物館友の会共催) <要申込>**

日時 令和6年10月26日(土) 13時~15時

会場 松戸市立博物館講堂

講師 当館学芸員 西村 広経(にしむら ひろつね)

定員 75人 (応募多数の場合は、抽選)

➤ **ギャラリートーク**

日時 令和6年9月14日(土) 11時~12時

令和6年9月14日(土) 13時30分~14時30分

令和6年9月29日(日) 11時~12時

令和6年9月29日(日) 13時30分~14時30分

令和6年10月20日(日) 13時30分~14時30分

令和6年10月26日(土) 11時~12時

令和6年11月4日(月・休) 11時~12時

令和6年11月4日(月・休) 13時30分~14時30分

会場 松戸市立博物館企画展示室

参加方法

事前申込不要。開始時間に企画展示室前ロビーにお集まりください。企画展観覧券が必要です。

企画展記念シンポジウム・講演会の申込方法については、当館ホームページ・SNS・広報まつどに掲載します。

この他にも会期中週末には各種イベントを計画しています。詳細は松戸市立博物館ホームページをご確認ください。

【本件に関する問い合わせ先】

〒270-2252 松戸市千駄堀671

松戸市生涯学習部文化財保存活用課博物館(月曜休館)

☎047-384-8272 FAX047-384-8194

✉ mchakubutsukan@city.matsudo.chiba.jp

令和6年度 企画展

異形土器

Ikei Doki

縄文時代の不思議なうつわ



後援 **チバテレビ**
(公財)松戸市文化振興財団
(一社)松戸市観光協会
北総線沿線地域活性化協議会

協力 新京成電鉄株式会社 流鉄株式会社

	観覧料		
	一般	高大生*	中学生以下
企画展	310円	150円	無料 (市内・市外問わず)
企画・常設展示共通	520円	250円	

※11月3日(文化の日)は企画・常設展とも無料

次に該当する場合は観覧無料 ※博物館交付で証明書をご提示ください。

- ・市内在住で70歳以上の方
- ・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護人(手帳の交付を受けている方1人につき1人)

2024 9.14 [土] ~ 11.4 [月・休]

いけいどき 異形土器

普通の土器とはちょっとちがう、縄文時代の不思議なうつわ。大きな孔があいていて、実用的なものとは思えません。しかし、東日本の各地で同じ形に作られていることから、多くの人に必要とされたものだったと考えられます。異形土器を手がかりにして、縄文時代後期の人びとによる、地域を越えた関わり合いを探ります。



釣手土器（馬場小室山遺跡／さいたま市教育委員会蔵）

関連行事

企画展記念シンポジウム 「異形土器と注口土器からみた縄文後期社会の変容」

共催／科学研究費学術変革領域研究（A）
「日本列島域における先史人類史の統合生物考古学的研究
— 令和の考古学改新 —」

基調講演 中村耕作氏（国立歴史民俗博物館）
パネリスト 吉岡卓真氏（さいたま市教育委員会）
福永将大氏（九州大学総合研究博物館）
渡辺幸奈氏（京都大学大学院）
西村広経（松戸市立博物館）

日時／令和6年10月5日（土） 10:00～16:00
会場／森のホール21 レセプションホール
※要事前申込み／聴講無料／定員 190名

学芸員講演会「縄文後期の異形土器」

共催／松戸市立博物館友の会 講師／西村広経（当館学芸員）
日時／令和6年10月26日（土） 13:00～15:00
会場／松戸市立博物館講堂 ※要事前申込み／聴講無料／定員 75名
お申し込み方法 当館ホームページをご覧くださいか、電話にてお問い合わせください。

ギャラリートーク

①令和6年 9月14日（土） 11:00～12:00
②令和6年 9月14日（土） 13:30～14:30
③令和6年 9月29日（日） 11:00～12:00
④令和6年 9月29日（日） 13:30～14:30
⑤令和6年10月20日（日） 13:30～14:30
⑥令和6年10月26日（土） 11:00～12:00
⑦令和6年11月 4日（月休） 11:00～12:00
⑧令和6年11月 4日（月休） 13:30～14:30

ギャラリートークの参加方法

希望者は開始時間までに企画展示室前ロビーに集合

会場／企画展示室（参加者は企画展観覧券が必要） 申込／不要



- 1 香炉形土器（田面木平(1)遺跡／八戸市博物館蔵）
- 2 異形台付土器（小場遺跡／高萩市歴史民俗資料館蔵）
- 3 香炉形土器（大湊近川遺跡／青森県埋蔵文化財調査センター蔵）
- 4 下部穿孔土器（長倉遺跡／軽米町教育委員会蔵 岩手県指定文化財）
- 5 異形台付土器（なすな原遺跡／町田市教育委員会蔵）

展示資料・関連資料の3DモデルをSketchfabで公開中



*詳しくは当館ウェブサイト、SNS等でご確認ください。イベントの内容は変更になる場合がございますので、ご了承ください。

http://www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/



アクセス

- 新京成線「八柱駅」・JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩15分。または松戸新京成バス小金原団地循環が新松戸駅行「森のホール21・公園中央口」下車すぐ。
- JR常磐線・武蔵野線「新松戸駅」下車、松戸新京成バス八柱駅行「森のホール21・公園中央口」下車。地下道通ってすぐ。

駐車場のご案内

来館者専用の駐車場はございませんので、21世紀の森と広場の有料駐車場をご利用ください。
*障害者専用駐車場をご用意しております。詳しくはお問い合わせください。

松戸市立博物館
MATSUDO MUSEUM

